

令和2年度 第1回加古川市スポーツ推進審議会 資料

日時 令和2年8月28日(金)15:30～

場所 加古川市議会 議場棟2階 協議会室

加古川市スポーツ推進審議会委員名簿

任期：令和２年８月７日～令和４年８月６日

区分	推薦団体等	氏 名	役 職 等	備考
スポーツに関する 学識経験のある者	学識経験者	もりた ひろゆき 森田 啓之	兵庫教育大学 学校教育研究科 教授	再任
	学識経験者	やの たくや 矢野 琢也	兵庫大学健康科学部 健康システム学科 准教授	再任
	学識経験者	こばやし ゆりこ 小林 祐梨子	スポーツコメンテーター	再任
	加古川市体育協会	えびすぎ さだこ 戎木 定子	加古川市バスケットボール協会 理事	再任
	加古川市 スポーツ推進委員会	はま あつし 破魔 淳司	加古川市スポーツ推進委員	新任
	NPO 法人加古川 総合スポーツクラブ	みかみ よしこ 三上 善子	NPO法人加古川総合 スポーツクラブ正会員	再任
	加古川医師会	なかたに てつや 中谷 徹也	加古川医師会	再任
	加古川市 老人クラブ連合会	にしかわ としかず 西川 敏一	加古川市老人クラブ連合会 副会長	新任
	障がい者スポーツ 関係者	こてら まさたけ 小寺 正健	ひょうご障害者 スポーツ指導者協議会 障害者スポーツ指導員	再任
関係行政機関職員	加古川市 中学校体育連盟	くどう まさひこ 工藤 昌彦	加古川市中学校体育連盟会長 平岡南中学校長	再任

○加古川市スポーツ推進審議会条例

平成18年 3 月31日

条例第 2 号

改正 平成23年 9 月30日 条例第16号

(設置)

第 1 条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号。以下「法」という。）第31条の規定に基づき、加古川市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第 2 条 審議会は、法第35条に規定するもののほか、加古川市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に意見を述べる。

- (1) 法第10条第 1 項に規定する地方スポーツ推進計画に関すること。
- (2) スポーツの指導者その他スポーツの推進に寄与する人材の養成及び資質の向上並びにその活用に関すること。
- (3) スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- (4) スポーツの団体の育成に関すること。
- (5) スポーツ事故その他スポーツによって生じる外傷、障害等の防止及びこれらの軽減に関すること。
- (6) スポーツの技術水準の向上に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(委員)

第 3 条 委員は、スポーツに関する学識経験のある者及び関係行政機関の職員の中から、教育委員会が委嘱又は任命する。

- 2 委員の定数は、10人以内とする。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は再任されることができる。

(会長及び副会長)

第 4 条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選によって定め、副会長は、委員のうちから会長が指名する。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 審議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開き、議決をすることができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(補則)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年9月30日条例第16号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 スポーツ基本法（平成23年法律第78号）の施行の日の前日において同法による改正前のスポーツ振興法（昭和36年法律第141号）第18条第4項の規定により任命されている加古川市スポーツ振興審議会の委員は、第1条の規定による改正後の加古川市スポーツ推進審議会条例第3条第1項の規定により委嘱又は任命された加古川市スポーツ推進審議会の委員とみなす。

(加古川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

3 加古川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（平成2年条例第2号）の一部を次のように改正する。

別表第1中「加古川市スポーツ振興審議会」を「加古川市スポーツ推進審議会」に、「体育指導委員」を「スポーツ推進委員」に改める。

加古川市スポーツ推進審議会の役割・経過について

＜事業経過＞

加古川市においては、平成 18 年 3 月にスポーツ振興法に基づき「加古川市スポーツ振興審議会条例」を制定し、平成 18 年 8 月に 9 名の委員により加古川市スポーツ振興審議会を設置した。

平成 18 年度については、加古川市スポーツ振興基本計画の策定について審議するため、文部科学省、兵庫県が策定したスポーツ振興基本計画の内容を調査・研究を行うとともに、加古川市スポーツ振興の現状把握を行った。また、加古川市のスポーツ振興に関する市民調査の内容について検討・審議を行った。

平成 19 年度については、加古川市スポーツ振興基本計画の策定に向けて、加古川市のスポーツ振興に関する市民調査の集計・分析を行い、今後 10 年間のスポーツ振興を総合的、計画的に推進するための基本計画として、加古川市スポーツ振興基本計画を平成 20 年 3 月に策定した。

平成 20 年度については、加古川市スポーツ振興基本計画の目標数値に近づけるための具体策として、前期 5 年間の取り組み内容を整理したアクションプランの計画を行った。

平成 23 年度については、審議会の名称を「加古川市スポーツ推進審議会」に改めるとともに、加古川市スポーツ振興基本計画の中間評価に向けて加古川市のスポーツ振興に関する市民調査を行った。

平成 24 年度については、審議会委員の数を 9 名から 10 名に 1 名増員した。また、市民調査を分析し、加古川市スポーツ振興基本計画の前期 5 年間の総括として計画推進のめやす等について中間評価を行った。

平成 25 年度については、前年の中間評価の結果を踏まえ、加古川市スポーツ振興基本計画の目標数値達成のための後期 5 年間の具体的な取り組み内容を示した後期アクションプランを策定した。

平成 27 年度については、加古川市スポーツ振興基本計画の最終年度である平成 29 年度を前にして、中間評価時の調査からの進捗状況の確認と、平成 29 年度から策定を進める加古川市スポーツ推進計画のための、加古川市のスポーツの現状を把握することを目的とした、市民調査の内容について検討・審議を行った。

平成 28 年度については、加古川市スポーツ推進計画策定のために市民調査を実施し、調査結果を分析して現状把握を行った。

平成 29 年度については、市民調査の結果を踏まえ、平成 30 年度から 10 年間のスポーツ施策の指針となる「加古川市スポーツ推進計画」を策定した。

平成 30 年度以降については、加古川市スポーツ推進計画における関連事業の進捗管理を行っており、特に本市が東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、障がい者スポーツの普及を図っていることから、本計画の基本方針である「スポーツを通じた共生社会の実現」の項目を中心に審議を行っている。 ※令和 2 年 3 月 6 日（共生社会ホストタウンに認定）

<会議状況>

平成 25 年度	10 月 10 日 (木)	第 1 回審議会	
	1 月 28 日 (火)	第 2 回審議会	
	3 月		加古川市スポーツ振興基本計画 後期アクションプラン策定
平成 26 年度	9 月 18 日 (木)	第 1 回審議会	委嘱状交付
	3 月 13 日 (金)	第 2 回審議会	
平成 27 年度	9 月 24 日 (木)	第 1 回審議会	
	3 月 10 日 (木)	第 2 回審議会	
平成 28 年度	7 月 26 日 (火)	第 1 回審議会	
	7 月		加古川市のスポーツ振興に関する市民調査に ついて市民 3,000 人を対象に実施
	9 月 15 日 (木)	第 2 回審議会	
	1 月 12 日 (木)	第 3 回審議会	
	3 月 21 日 (火)	第 4 回審議会	
平成 29 年度	6 月 29 日 (木)	第 1 回審議会	
	9 月 13 日 (水)	第 2 回審議会	
	10 月 19 日 (木)	第 3 回審議会	
	12 月 19 日 (火)		パブリックコメント実施 (12 月 19 日から 1 月 18 日まで)
	2 月 14 日 (水)	第 4 回審議会	
	3 月		加古川市スポーツ推進計画策定
平成 30 年度	6 月 28 日 (木)	第 1 回審議会	
	12 月 17 日 (月)	第 2 回審議会	
令和元年度	7 月 10 日 (水)	第 1 回審議会	

加古川市のスポーツ推進の現状について
～加古川市のスポーツ振興担当課の業務内容について～

所管：加古川市教育委員会 社会教育・スポーツ振興課

- (1) 市民スポーツの計画立案に関すること
 - ・スポーツ推進審議会の開催等
- (2) 市民のスポーツ及びレクリエーションの普及及び振興に関すること
 - ・スポーツライフセミナー等事業の開催・実施等
- (3) 市民のスポーツ及びレクリエーション関係団体に関すること
 - ・体育協会事業補助等
 - ・加古川市スポーツネットワーク委員会
- (4) 学校の体育施設の供用に関すること
 - ・平岡北小学校運動場夜間照明施設の運営
- (5) スポーツ推進委員に関すること
- (6) 地域スポーツクラブの育成に関すること
- (7) 屋内ゲートボール場すぱーく加古川に関すること
- (8) 障がい者スポーツに関すること
- (9) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関すること

所管：加古川市 ウェルネス推進課

- (1) ウェルネスイベントの実施に関すること
 - ・加古川ツーデーマーチ
 - ・加古川マラソン大会
 - ・Bリーグ加古川大会
 - ・Vリーグ女子加古川大会
 - ・加古川市バスケットボール教室
 - ・加古川市バレーボール教室
 - ・加古川市バドミントン教室

- (2) ウェルネス施設の管理運営に関すること

＜主な所管施設＞

総合体育館、日岡山体育館、志方体育館、運動公園陸上競技場、日岡山公園グラウンド、日岡山公園野球場、武道館、日岡山公園第1・2テニスコート、志方東公園テニスコート、日岡山市民プール、浜の宮市民プール、漕艇センター、ウェルネスパーク、スポーツ交流館ほか

～加古川市のスポーツ団体紹介～

1 加古川市体育協会

◆活動内容：加古川市体育協会は、昭和16年に設立し、現在、27種目のスポーツ協会が加盟し、スポーツの普及・振興、競技スポーツの強化等を図り、加古川市の明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的に活動している。

令和2年度に創立80周年を迎え、これまでに市民の健康づくりをテーマとした健康・体力づくり事業や平成元年より開催している加古川カップ綱引大会などを実施しており、広く市民に対してスポーツに親しむ機会を提供している。

◆会 員 数：約14,000名

◆種目協会：27種目協会

加古川野球協会、加古川市陸上競技協会、加古川ソフトテニス協会、加古川市バレーボール協会、加古川ソフトボール協会、加古川市バスケットボール協会、加古川バドミントン協会、加古川市柔道協会、加古川市剣道連盟、加古川市空手道協会、加古川山岳協会、加古川市少林寺拳法協会、加古川市卓球協会、加古川市家庭バレーボール協会、加古川市サッカー協会、加古川市ママさんバレーボール協会、加古川市テニス協会、加古川水泳協会、加古川市ハンドボール協会、加古川市ゲートボール協会、加古川市なぎなた協会、合気道加古川市連盟、加古川市ボクシング協会、加古川ボート協会、加古川ラグビー協会、加古川市グラウンドゴルフ協会、加古川市ゴルフ協会

◆種目協会大会数：約220事業（令和元年度実績）

◆体育協会主な事業：

国体出場者激励会

健康・体力づくり事業

体育功労者、優秀選手表彰

加古川カップ綱引大会



2 加古川市スポーツ推進委員会

◆委員数：48名（男性32名 女性16名）

◆部会数：5部会（研修部会、広報部会、事業部会、普及部会、パラスポーツ部会）

◆活動内容：スポーツ推進委員は、加古川市教育委員会より委嘱（非常勤）され、加古川市のスポーツ振興・発展のために、地域スポーツの実技指導やスポーツに関する情報誌の発行、また、総合型地域スポーツクラブの育成や市スポーツイベントに協力する等、様々な形で市民の皆さんのスポーツライフを支援する。

◆主な指導事業（令和元年度実績）：

◇加古川市スポーツライフセミナー

- ・実施日：令和元年6月～8月
- ・場 所：3小学校、日岡山体育館

◇かこパラスポーツ王国

- ・実施日：令和元年8月25日（日）
- ・場 所：加古川市立総合体育館

◇親子ふれあい体操・体力測定（第7回加古川スポーツカーニバル）

- ・実施日：令和元年11月3日（日・祝）
- ・場 所：加古川市立総合体育館

◇その他

地域スポーツの普及・啓発（研修）、加古川マラソン、加古川カップ綱引大会等市のスポーツイベントの支援・指導を行っている。



3 NPO 法人加古川総合スポーツクラブ

◆名 称：NPO法人加古川総合スポーツクラブ

◆会 員 数：2,930 名（令和 2 年 8 月 1 日現在）

◆活動クラブ：31 クラブ

◆組 織：12 エリア総合スポーツクラブ

◆活動種目：42 種目（バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球ほか）

◆活動場所：主にクラブハウスを設置している小・中学校

◆指定管理：志方体育館、志方東公園テニスコート

◆活動内容：

「いつでも、だれでも、どこでも、いつまでもスポーツが楽しめます。」を合言葉に、市民が日常生活の中で自発的にスポーツを楽しみながら、健康・体力を維持増進することができる、総合型地域スポーツクラブの確立をめざし、週 1 回のスポーツの実施を促進している。

◆経 緯：

①平成 11 年度に文部科学省の補助事業「総合型地域スポーツクラブモデル事業」の採択を受け、市内を 5 地区に分けクラブを立ち上げた。

②平成 12 年度に兵庫県補助事業「スポーツクラブ 21 ひょうご事業」の採択を受け、平成 16 年度までに 28 スポーツクラブを立ち上げ、その後再編により、31 スポーツクラブが設立され、現在に至っている。

③平成 13 年 5 月には、社会的認知を高めるため、また、財源確保の観点から NPO 法人格を取得し、自主的な運営をめざした。（日本のスポーツクラブの中では、第 1 号となる。）

④平成 20 年には、設立 10 周年を迎え市民を対象とした記念講演会や記念事業を実施した。

⑤平成 22 年度は、設立 12 年目を迎え、役員の負担軽減、指導者の確保と共有化、各スポーツクラブの強化を目的として、31 の総合スポーツクラブを、中学校区を単位とした 12 エリアに組織の再編を行い発展的な活動を行った。

⑥平成 23 年 10 月 7 日に、地域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を挙げたスポーツ団体として、平成 23 年度生涯スポーツ優良団体表彰（文部科学大臣表彰）を受賞した。

⑦平成 30 年度に設立 20 周年を迎え、記念式典や記念交流イベントを実施した。

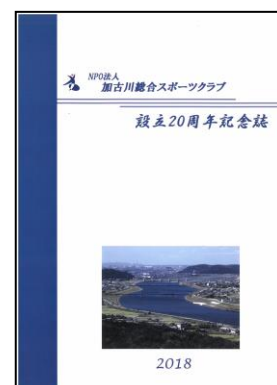
◆特 色

①所属するスポーツクラブ以外の活動にも参加できる。

②興味のある種目は、自由に参加できる。

③広報誌やホームページにより情報発信している。

④障がい者スポーツの種目がある。



4 加古川市スポーツネットワーク委員会

- ◆組 織：加古川市体育協会 会長及び副会長… 4 名
加古川市スポーツ推進委員会 会長及び副会長… 5 名
NPO 法人加古川総合スポーツクラブ 理事長、副理事長… 3 名
加古川市教育委員会 教育長… 1 名
顧問（スポーツネットワーク委員会前会長）… 1 名

◆活動内容：

- ① 加古川市内の主要なスポーツ団体である上記 3 団体が、ウェルネス都市加古川の実現と市民の健康づくりに寄与することを目的として、平成 23 年度に「加古川市スポーツ関係団体ネットワーク会議」を発足した。
- ② 「加古川市スポーツ関係団体ネットワーク会議」では、スポーツ関係団体 3 団体と行政が、それぞれの活動の情報交換を通じて連携を図り、また、加古川市総合基本計画や加古川市スポーツ振興基本計画に基づく、スポーツ施策の今後の取り組みについて討議を行った。
- ③ 平成 25 年 5 月には、「会議」から、より実践に向けた団体として活動するため、「加古川市スポーツ関係団体ネットワーク委員会」と名称を変更した。委員会では、より具体的な計画として、スポーツ関係 3 団体が主催する「加古川市民スポーツカーニバル」を提案し、実行部隊として「加古川市民スポーツカーニバル実行委員会」を組織して企画・準備をすすめ、平成 25 年 11 月 4 日に市立総合体育館及び陸上競技場で開催した。なお、10 月には、現在の名称である「加古川市スポーツネットワーク委員会」に名称を変更している。
- ④ 平成 30 年度に実施した第 6 回より、市内企業等に広く周知するため「加古川市民スポーツカーニバル」から「加古川スポーツカーニバル」へ名称を変更した。

◆主な事業：加古川スポーツカーニバル



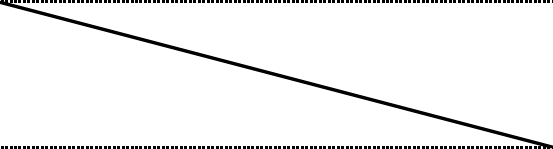
加古川市スポーツ推進計画関連事業一覧

1 スポーツ参画人口の拡大						
No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和元年度の取り組み結果	令和2年度実施予定	課題・検討事項等
(1)子どもの体力向上とスポーツ活動の推進						
①	幼児を対象とした運動遊びの充実	なかよし運動会	こども政策課	参加者数：大人104人 子ども105人 玉いれやかっこなど、親子と一緒に参加できる運動会のプログラムを展開し、たくさんの子育て世代が、親子で触れ合いながら運動を行った。	親子で触れ合いながら運動を楽しむことを目的として、小学生未満の子どもと保護者を対象に秋ごろ実施予定。	子育て世代がより楽しめる充実したイベント、プログラムになるよう、事業実施後のアンケートを行うなど、参加者のニーズの把握に努める。
		加古川スポーツカーニバル(親子ふれあい体操)	社会教育・スポーツ振興課	11月3日(日・祝)に、開催した「加古川スポーツカーニバル」のプログラムの一つであり、年長～小学3年生とその保護者を対象にして、親子で一緒にできる体操やボール遊びなどを実施し、105名(54組)の参加があった。	主催団体との協議のうえ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については中止。	親子ふれあい体操については、平成30年度より実施しており、今後より充実した内容になるよう、スタッフや参加者にアンケートを実施する必要がある。
②	学校におけるスポーツ活動の充実	放課後子ども教室	社会教育・スポーツ振興課	子どもたちの放課後や休日を充実したものとなるよう、地域のボランティアの指導のもと、7小学校において新規開設し、市内28小学校及び12公民館において実施した。スポーツ種別としては、野口南小で卓球・グラウンドゴルフ、川西小で卓球、西神吉小でソフトボール、野口小で卓球、氷丘小で相撲・キンボール、平岡小でハンドボール、上荘小でソフトボール、東神吉小で卓球、野口北小でバレーボール、神野小でソフトボール、平岡南小でヨーヨーお手玉ダンス、志方東小でグラウンドゴルフ、志方西小でドッチビー、別府西小でグラウンドゴルフ、加古川小でヨガ、鳩里小でシッティングバレーボール、平岡東小でフォークダンス、東神吉南小で卓球を実施した。公民館では、登録団体や高齢者大学の協力のもと、スポーツを含むさまざまなプログラムを実施した。	子どもたちの放課後や休日を充実したものとなるよう、地域のボランティアの指導のもと、市内28小学校及び12公民館において実施する。スポーツ種別としては、加古川小でブレイン体操、氷丘小で相撲・キンボール、神野小でソフトボール、野口小で卓球、平岡小でハンドボール、上荘小でソフトボール、東神吉小で卓球、西神吉小でソフトボール、川西小で卓球、平岡南小でフォークダンス、浜の宮小で伝承遊び、鳩里小でシッティングバレーボール、平岡東小でフォークダンス、野口北小でバレーボール、志方東小でグラウンドゴルフ、志方西小でドッチビー、野口南小で卓球・グラウンドゴルフ、東神吉南小で卓球、若宮小でフォークダンス、別府西小でグラウンドゴルフを実施する。公民館では、登録団体や高齢者大学の協力のもと、スポーツを含むさまざまなプログラムを実施する。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により1学期の活動は中止した。今後の実施については検討中である。	事業を継続的に実施していくにあたり、事業を統括するコーディネーターや活動の中心となる地域ボランティアの確保・育成が課題である。また、新たなプログラムの導入を検討する必要がある。
		中学校部活動支援事業	学校教育課	加古川市中学校部活動外部技術指導者数－28名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和元年度配置実績 配置校－12校(加古川、中部、浜の宮、両荘、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目及び人数－13種目(野球1名、バレーボール6名、陸上競技1名、バスケットボール4名、ソフトテニス3名、国際交流1名、バドミントン3名、ソフトボール1名、柔道1名、生活1名、演劇2名、吹奏楽1名、コーラス1名)	加古川市中学校部活動外部技術指導者数－26名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和2年度配置予定 配置校－12校(加古川、中部、浜の宮、両荘、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目及び人数－13種目(野球3名、バレーボール4名、陸上競技1名、バスケットボール4名、ソフトテニス4名、国際交流1名、バドミントン2名、ハンドボール1名、剣道1名、柔道2名、生活1名、演劇1名、コーラス1名)	教職員の人事異動等により、部活動において、専門的な指導をすることができる教師が不足しており、中学校の部活動支援に対するニーズが高まっている。 また、平成29年3月14日に学校教育法施行規則の一部が改正され、部活動指導員が顧問となることが可能となった。今後、本市における外部技術指導者に係る規則の整備など、検討していくことが必要である。
(2)ライフステージに応じたスポーツの推進						
①	ビジネスパーソンのスポーツ習慣づくり	スポーツライフセミナー	社会教育・スポーツ振興課	スポーツライフセミナーは、スポーツ実施率の低い20代～50代の方にスポーツを始めるきっかけ作りを提供することを目的にしており、20代～50代を対象に全6回をプログラムとする「エンジョイコース」については、延96名の参加があった。 また、親子で参加可能である「小学校コース」については3つの小学校(鳩里・八幡・氷丘)で、フライングディスク・卓球・トランポピクス・シッティングバレーボールの4種目を行い、NPO法人加古川総合スポーツクラブとスポーツ推進委員会が指導を行い、延153名の参加があった。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については中止。	
②	女性がスポーツに参画しやすい環境整備	アンケートの実施	社会教育・スポーツ振興課		体育施設や子育てプラザを利用する女性に対してスポーツへの参画についてのアンケートを実施する。	30代、40代が特にスポーツをする機会が少ない状況である。
③	高齢者スポーツの推進	老人クラブ活動	高齢者・地域福祉課	いきいきクラブ体操、ラジオ体操、その他の高齢者の健康づくり・介護予防のために市が適当と認める体操等の実施・普及促進活動を市内の老人クラブ(121クラブ6,143名)が主体となって実施した。	いきいきクラブ体操、ラジオ体操、その他の高齢者の健康づくり・介護予防のために市が適当と認める体操等の実施・普及促進活動を市内の老人クラブ(117クラブ5,739名)が主体となって引き続き実施する予定である。	老人クラブ数、老人クラブへの加入者数とも減少している。
(3)スポーツに関心のない人へのはたらきかけ						
①	スポーツとの多様な関わり方の提案	OCTOBER run&walk 2020 (オクトーバーランアンドウォーク)	ウェルネス推進課 社会教育・スポーツ振興課		株式会社アールピーズが運営を行っている10月1ヶ月間の中での歩行、走行距離を自治体間で競うイベントであり、場所を選ばず、各々でスポーツを実施できる機会として市民へ提供する。	参加には専用のアプリが必要となり、市民への周知方法を検討する必要がある。

1 スポーツ参画人口の拡大						
No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和元年度の取り組み結果	令和2年度実施予定	課題・検討事項等
②	ライフスタイルに合わせたスポーツ情報の提供	かこがわ・新コンセプトウォーキングコース	ウェルネス推進課	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別に巡るウォーキングコースを設定、各公民館にてガイドブック及びマップを配布した。	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別に巡るウォーキングコースを設定、各公民館にてガイドブック及びマップを配布する。	
		ウォーキングコースの奨励	観光振興課	ホームページ及び観光パンフレットにウォーキングコースを掲載し、ウォーキングを奨励した。	ホームページ及び観光パンフレットにウォーキングコースを掲載し、ウォーキングを奨励する。	既存のウォーキングコースのより一層のPR
(4)競技スポーツの推進						
①	競技スポーツ選手のスポーツ環境整備	選手育成機会の提供	社会教育・スポーツ振興課	県体育協会が小学生を対象としたスポーツ体験教室等を実施するとともに、ジュニアスポーツ教室や関連スポーツ団体と連携し、継続的に選手を育成するゴールデンエイジプロジェクトについて、市に情報提供があれば、体育協会やスポーツクラブへ周知を行った。	県体育協会が小学生を対象としたスポーツ体験教室等を実施するとともに、ジュニアスポーツ教室や関連スポーツ団体と連携し、継続的に選手を育成するゴールデンエイジプロジェクトについて、市に情報提供があれば、体育協会やスポーツクラブへ周知を行う。	
		選手育成コース	運動公園陸上競技場	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象に水曜コース19回延836名、土・日コース18回延612名の参加があった。基本となる体作りを目的とし、多くの子供が参加した。高跳びや幅跳びにも挑戦するので、陸上に触れる良い機会となった。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし38回延1,402名の参加があった。大会へ出場し好成績を目指し実施した。(※3月は中止) ②投てきコース 中学生対象の教室で28回延303名の参加があった。(※3月は中止) ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象で、気軽に参加できリフレッシュすることを目的とし、37回延268名の参加があった。(※3月は中止)	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、陸上の基本練習をしている。基本となる体作りを目的とし、多くの子供が参加している。高跳びや幅跳びにも挑戦する事で、陸上の楽しさに触れる機会を作る。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、大会出場や自己記録の更新を目的としたトレーニングを行う。(※4～6月は中止) ②投てきコース 中学生対象の教室で、県大会などでの活躍を目的としたトレーニングを行う。(※4～6月は中止) ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象、歩くだけでなくストレッチや筋トレを行う事で身体のリフレッシュに繋げる。定期的に広報掲載により新規参加者の獲得を目指す。(※4～6月は中止)	①毎年多くの生徒が参加され、地域に浸透している教室なので、引き続き参加の生徒さんに満足頂けるような教室を展開する。 ②教室の卒業生が、中学、高校に出て活躍しているので、引き続き多くの生徒が活躍できるような指導に努める。 ③リフレッシュウォーキング教室は継続参加の方が多いので新規参加者の獲得が課題である。
		バスケットボール教室	ウェルネス推進課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内小学生のミニバスケットボールチームに所属する児童および指導者を対象に、Bリーグ選手の直接指導による教室を実施した。 日時：令和元年8月24日(土) 場所：総合体育館	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた市の方針に基づき実施なし。	
		バレーボール教室	ウェルネス推進課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バレーボール部に所属する女子中学生および指導者を対象に、Vリーグ選手・スタッフの直接指導による教室を実施した。 令和元年7月20日(土) 場所：総合体育館	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた市の方針に基づき実施なし。	
		俊足王決定戦	ウェルネス協会	全てのスポーツの基本となる『走る』ことを多くの小中学生に体験していただき、スポーツの底辺拡大と競技力向上を目指しました。 令和元年5月4日(土・祝)に開催し、小学生510名、中学生179名、合計689名が参加。コンビニ検診も開催し、268名が参加。	令和2年5月4日(日)開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため延期。 今後の開催に向けては検討予定。	参加者が多く、イベントが盛り上がるのですが、その分、駐車場の確保が難しくなっている。また、今年度開催の場合は、感染症対策が重要になってきます。
		バドミントン教室	ウェルネス推進課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バドミントン部に所属する中学生および指導者を対象に、S/Jリーグや兵庫県No.1のチームで活躍する選手の直接指導による教室を実施した。 日時：令和2年1月25日(土) 場所：日岡山体育館	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた市の方針に基づき実施なし。	
		小学生ボート体験教室	ウェルネス推進課 (漕艇センター)	令和元年度からは加古川市立漕艇センターの自主事業として実施。小学生4～6年生を対象に、水に親しみながらボート競技を通じての体力づくりを目指し、午前の部4名と午後の部4名の合計8名で、2日間コースで実施した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については中止。	ここ数年、参加人数が減数傾向にある。広報や漕艇センターのホームページ、フェイスブック等で発信していく必要がある。また、チラシを作成し、市内の小学校に配布する。
		加古川市民さわやか賞	総務課	スポーツ分野においてめざましい活躍をし、市民に希望と活力を与えてくれた個人28名について、今後の活躍を期待する意味を込めて表彰した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種大会やコンクール等の実施が見送られており、例年より候補者が減少することが見込まれる。	関係者からの推薦を待つだけでなく、新聞記事やマスコミ報道等を注意深く確認するなどして候補者の把握に努める必要がある。
②	競技スポーツ指導者の育成・確保	障がい者スポーツ指導者の育成	社会教育・スポーツ振興課	市内小学校を会場とした、障がい者スポーツの体験と審判講習会の実施。 ・6月23日に鳩里小学校にてふうせんバレーボール実技講習会実施 ・7月13日に氷丘南小にて卓球バレー講習会実施 ・2月1日にウェルネージ加古川にてボッチャ研修会実施	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については検討予定。	

2 スポーツを通じた共生社会の実現						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和元年度の取り組み結果	令和2年度実施予定	課題・検討事項等
(1)障がい者スポーツの振興						
①	障がい者スポーツの組織基盤の整備	障がい者スポーツ指導員講習会への参加促進	社会教育・スポーツ振興課	スポーツ推進委員に対して講習会への参加を促し、令和元年度は、1名が公認障がい者スポーツ指導者の資格を取得した。	障がい者スポーツに関する指導者の増加を目指し、スポーツ推進委員やスポーツサポーターボランティアに対して講習会への参加を促す予定。	
②	スポーツ施設における障がい者等の利用促進	総合体育館改修事業	社会教育・スポーツ振興課	令和2年3月末に総合体育館のコミュニティアリーナの床を弾力性が高いものに改修を行った。年齢や障害の有無にかかわらず、安全かつ快適にスポーツに参画できることをめざしていく。		障がい者スポーツ活動の拠点となるよう活用については検討していく。
③	障がい者スポーツの実施機会の増加	ふれあいスポーツ教室	障がい者支援課	8月に社会教育・スポーツ振興課と共同開催した「かこバラスポーツ王国」を第1回目と位置づけ、その後、11月～1月の間に毎月1回、計4回スポーツ教室を実施した。(サウンドテーブルテニス、ボウリング、風船バレー・卓球バレー)令和元年度合計参加者数は 428名。 障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については検討中。	
		加古川スポーツカーニバル	社会教育・スポーツ振興課	加古川市スポーツネットワーク委員会主催で11月3日(日・祝)に市立総合体育館にて開催し、約2,600名の参加があった。 昨年度と引き続き、『スポーツを文化に!!!』～日々の生活の中にスポーツを!!そして、健康な生活を!!～をテーマとしてスポーツ体験コーナー、シッティングバレーボールの全日本チームを招いての体験会や体力測定の実施など参加者がスポーツに親しめる機会を提供した。	主催団体との協議のうえ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については中止。	
		かこバラスポーツ王国 (パラリンピック機運醸成イベント)	社会教育・スポーツ振興課	パラリンピック機運醸成イベントとして8月25日(日)に市立総合体育館にて開催し、約350名の参加があった。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供した。また、イベントアンバサダーや当日指導者として、オリンピックとパラリンピアンを招き、参加者と交流を行った。 体験種目:シッティングバレーボール、車いすバスケットボール、ブラインドサッカー、ボッチャ、フライングディスク、卓球バレー、ふうせんバレーボール	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については、中止。	障がい者スポーツの理解と普及を図る事業として、事業内容(規模や対象等)を検討する必要がある。
④	ノーマライゼーションの推進	加古川ソーデーマーチ	障がい者支援課	障がい者(児)の社会参加を支援し、障がいのある人となない人との交流の輪を広げ、相互理解の促進を図ることを目的に、障がい者(児)・介助者を対象としたソーデーマーチ参加費助成事業を実施した。 令和元年度合計参加者は77名となった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の加古川ソーデーマーチ開催が見送られた。	
		加古川マラソン大会	障がい者支援課	障がい者(児)の社会参加を支援し、障がいのある人となない人との交流の輪を広げ、相互理解の促進を図ることを目的に、ファミリー2kmコースにおいて、障がい者(児)・介護者を対象とした加古川マラソン参加費助成事業を設けたが、助成対象者なし。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の加古川マラソン大会開催が見送られた。	
			ウェルネス推進課	視覚障がい者(児)ランナーの方には伴走者付きでの参加、聴覚障がい者(児)ランナーの方のために手話通訳者を配置した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施なし。	
(2)健康・体力づくり事業の推進						
①	健康・スポーツに関する情報発信	ウェルネスプラン 運動・身体活動ワーキングチーム	健康課	各種イベント等で庁内関係課及び関係施設と連携するほか、ウォーキング手帳を庁内関係課の窓口に設置いただいた。 また、健康づくり支援事業及びかがわ健康ウォーキング事業(ウェルネス健康チャレンジ)では、市民の5か月間に渡る主体的な健康づくりの支援を行った。特に、新規事業「かがわ健康ウォーキング事業」では、ウォーキングアプリを活用し、ウェルビーポイントをインセンティブとし、運動の習慣化の支援をした。ウェルネス健康チャレンジの全体の参加者は、(延)340人であり、そのうち運動に関連した目標に取り組んだのは(延)152人であった。	新型コロナウイルス感染拡大防止と健康づくりの両方の視点から、開始時期・内容を検討の上、実施予定。	かがわ健康ウォーキング事業においては、アプリを利用した、企業との共同研究として実施している。契約が令和2年度までとなっているため、令和3年度以降の事業展開について検討が必要である。 庁内及び庁外の関係団体と協力し、運動・身体活動の推進体制の確立とともに、連携の強化を図り、運動しやすい環境づくりや機会づくりを進めていく必要がある。
		特定保健指導	国民健康保険課	特定健診の結果、生活習慣の改善が必要な者を対象に、生活習慣病予防を目的に、各公民館等でウォーキング、筋力トレーニング、ストレッチ、体幹トレーニング、リズム体操等の運動指導を実施した。 対象者に体重記録表を配付し、体重、生活習慣改善の取り組み状況の記録を促し、運動の実施状況の確認及び継続支援を行った。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開始を延期する。特定保健指導対象者に対して、生活習慣の改善を目的に、感染予防を行いながら活動量を高められるように、各種指導を実施する。 対象者には、体重記録表を配布し、継続的な体重管理、生活習慣の改善を勧奨する。ウォーキング教室時には、ウォーキング手帳を配付し、運動の継続支援を行う。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対象者の活動量が低下している可能性が高い。感染症対策を講じたうえで取り組むことができる運動について、情報提供を行うとともに、取り組みを継続できるように支援を行っていく必要がある。

2 スポーツを通じた共生社会の実現						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和元年度の取り組み結果	令和2年度実施予定	課題・検討事項等
①	健康・スポーツに関する情報発信	いきいき健康サークル	健康課	加古川市が実施する保健事業や介護予防事業に協力し、市民を対象に、市内の集会所等でストレッチやリズム体操、レクリエーション等心身ともに健康を促す運動の普及啓発を行った。また、「ロコモティブシンドローム」の知識の普及啓発や「効果的なウォーキング」の実践、「ながら運動」やプラス10の普及啓発を実施した。令和元年度の地域での活動数は268回、指導人数は7,569人である。	新型コロナウイルス感染拡大防止と健康づくりの両方の視点から、開始時期・内容を検討の上、実施予定。	高齢者を対象とした活動が主になっているが、今後、対象の拡充を検討する必要がある。 会員の多くが60歳以上であり、会員の高齢化が課題である。また、地域でボランティア活動を行う会員に偏りがあるので、全体の資質向上、新規会員のスキルアップを検討していく。
②	散歩・ウォーキング・健康体操の推進	<再掲> かこがわ・新コンセプトウォーキングコース	ウェルネス推進課	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別に巡るウォーキングコースを設定、各公民館にてガイドブック及びマップを配布した。	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別に巡るウォーキングコースを設定、各公民館にてガイドブック及びマップを配布する。	
		<再掲> ウォーキングコースの奨励	観光振興課	ホームページ及び観光パンフレットにウォーキングコースを掲載し、ウォーキングを奨励した。	ホームページ及び観光パンフレットにウォーキングコースを掲載し、ウォーキングを奨励する。	既存のウォーキングコースのより一層のPR
		ラジオ体操の推進	社会教育・スポーツ振興課	スポーツ推進委員にラジオ体操指導者講習会への参加を呼びかけ、スポーツライフセミナーや高齢者大学、特定保健指導運動教室等の講習会でラジオ体操の指導を行った。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については、中止。	
		いきいき百歳体操活動支援	高齢者・地域福祉課	いきいき百歳体操 154会場、164団体、4,385名登録 いきいき百歳体操応援隊講座（5回コース） 6会場、27回実施 参加者実人数146名、参加者延人数529名、修了者数86名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回未実施（令和2年度に延期）	・新たな生活様式を意識した住民主体の介護予防活動が実施出来るように支援する。 ・「いきいき百歳体操」にて普及啓発や活動支援を行う。 ・「いきいき百歳体操応援隊講座」を市内5箇所で開催する。	新型コロナウイルス感染症予防対策を図りながら、健康・体力づくり事業を推進する。 「いきいき百歳体操応援隊講座」講座修了者がより活躍できる場や方法を検討していく。
③	スポーツ推進委員会の活用	スポーツ推進委員派遣事業	社会教育・スポーツ振興課	令和元年度は、28回の派遣事業を行い、市民のスポーツ活動の推進を図った。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、派遣については、検討中。	活動の周知方法を検討する必要がある。
		スポーツ推進委員研修会	社会教育・スポーツ振興課	令和元年度は、指導力向上研修会を8回行い、資質向上を図った。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については、検討中。	
(3)スポーツを通じた地域活性化						
①	地域におけるスポーツ環境・スポーツ情報の充実	公民館活動	社会教育・スポーツ振興課	昨年に引き続き、市内12の公民館で多くのスポーツグループがスポーツ活動を行う予定。	昨年に引き続き、市内12の公民館で多くのスポーツグループがスポーツ活動を行う予定。	
		少年団活動	青少年育成課	加古川市連合少年団（市内18団）は、地域のさまざまな活動を通して、青少年の健全育成を行うことを目的とし活動している。令和元年度も各地区の少年団において、これまでのスポーツ活動の実施を行った。また12月21日には「東播磨地区子ども会議（加古川市主催）」として、「逃走中」のイベントを行った。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、連合少年団主催のスポーツイベントについては、検討中。	少年団員数は、平成24年度の9,614人に比較し、令和元年度には7,730人と減少しており、各地区の少年団のソフトボール、バレーボールチームの活動も縮小傾向となっている。
②	スポーツイベントの開催	<再掲> 加古川スポーツカーニバル	社会教育・スポーツ振興課	11月3（日・祝）に市立総合体育館にて開催し、約2,600名の参加があった。 昨年度と引き続き、『スポーツを文化に!!!』～日々の生活の中にスポーツを!!そして、健康な生活を!!～をテーマとしてスポーツ体験コーナー、シッティングバレーボールの全日本チームを招いての体験会や体力測定の実施など参加者がスポーツに親しめる機会を提供した。	主催団体との協議のうえ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については中止。	
		<再掲> かこバラスポーツ王国 （パラリンピック機運醸成イベント）	社会教育・スポーツ振興課	パラリンピック機運醸成イベントとして8月25日（日）に市立総合体育館にて開催し、約350名の参加があった。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供した。また、イベントアンバサダーや当日指導者として、オリンピックとパラリンピアンを招き、参加者と交流を行い、大会への機運を高めた。 体験種目：シッティングバレーボール、車いすバスケットボール、ブラインドサッカー、ボッチャ、フライングディスク、卓球バレー、ふうせんバレーボール	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については、中止。	

2 スポーツを通じた共生社会の実現						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和元年度の取り組み結果	令和2年度実施予定	課題・検討事項等
②	スポーツイベントの開催	加古川カップ綱引大会	社会教育・スポーツ振興課	スポーツを通して気軽に健康・体力づくりや仲間づくりをすることを目的に、体育協会が12月15日に第32回加古川カップ綱引大会を開催を開催した。部門については、全7部門での開催で60チーム、約700名が参加した。 また、開催時期が例年より早くなったため、前回大会の参加者への早期のPRや学校や企業への参加依頼をし、広報活動を積極的に行った。	加古川カップ綱引大会については、市及び市教育委員会共催事業であり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については主催団体と検討する。	部門の一つ、「市内小学校対抗戦」では毎年、大変な盛り上がりを見せる一方で、参加校が限られてきているため、新規の小学校に参加してもらえるように積極的にPRを行う。
		健康・体力づくり事業	社会教育・スポーツ振興課	市民の健康・体力づくりを目的に加古川市体育協会が主催して初心者の方が参加できる大会、教室を8月から翌年2月まで(前期:8月～11月と後期:12月～2月)に開催し、11大会、6教室(体験会)の計17事業を実施した。	市民の健康・体力づくりを目的に加古川市体育協会が主催して初心者の方が参加できる大会、教室。令和2年度については、前期、後期の枠組みを廃止し、通年での開催を予定。	協会に加入していない一般市民の参加のさらなる増加に向け、事業実施の検討を行う。
		加古川市民レガッタ	ウェルネス推進課 (漕艇センター)	加古川市レガッタ事業実行委員会が主催し、8月3日(土)・4日(日)の2日間にわたり市民レガッタを実施した。また、小・中学生(小学4年生以上)チームの参加費を無料とし、青少年の健全育成とボート愛好者層に参加していただいた。	8月1日(土)・2日(日)に開催に向けて準備中であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については中止。	ここ数年、参加クルー数が横ばい状態ある。大会内容のマンネリ化が問題の一つとなっており、参加記念品や種目の見直しが必要である。 また、猛暑の中での開催となっており、熱中症対策等の対応が課題である。
		加古川レガッタ(関西学生秋季選手権)	ウェルネス推進課 (漕艇センター)	加古川市レガッタ事業実行委員会が主催し、加古川市立漕艇センター前コースで開催。今や関西だけではなく、西日本の大学が参加する大会となっている。今年度は、11/1～3の3日間で実施し、23大学、165クルー、510人の参加者があった。	10月30日(金)～11月1日(日)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については中止。	参加大学増により、宿泊先の確保が課題となっている。また、お風呂のキャバが定員オーバーであるために、新たな協力団体が必要である。
		加古川ソーデーマーチ	ウェルネス推進課	加古川ソーデーマーチ実行委員会が主催し、「歩いて体感 心と体のウェルネス」をテーマとしてリニューアル。11月9日(土)・10日(日)の2日間にわたって歩くウォーキングイベントとして開催した。 今大会から40kmコースを廃止し、両日とも20・10・5kmの各コースを設定。ウェルネスを体験・体感できるウェルネスイベントを両日ともにコース上にて開催するとともに、中央会場では健康関連のウェルネスブースを設置した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた市の方針に基づき、開催見送り。	
		加古川マラソン大会	ウェルネス推進課	市民参加型スポーツイベントとして加古川マラソン大会実行委員会が主催し、12月22日(日)に加古川河川敷で開催。参加コースはフルマラソン・10km・中高生5km・中学生3km・ファミリー2km。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた市の方針に基づき、開催見送り。	
③	地域でのスポーツイベントの開催	世代間交流学習会	社会教育・スポーツ振興課	地域の教育力を高め、絆を深めることを目的とし、共に支えあう地域づくりに貢献するために実施する。	事業を全面的に中止とはしていないが、各地域が主体となって行う事業であるため、各地域内で検討の上、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で実施するよう通知を行っている。	規模の小さい町内会や、高齢化が進む町内会では、世代間交流学習会の実施が困難な地域がある。
④	ホストタウンを契機としたスポーツ交流の促進	ホストタウン交流事業	政策企画課 社会教育・スポーツ振興課	8月13日～24日にツバルの選手(陸上競技)が本市で事前合宿を行い、市内高校との合同練習をはじめ、市内施設を会場として市民との交流会を実施するなど、大会に向けての機運を高めた。 3月には、市民を対象として、ブラジル文化バスツアーを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により中止した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については、検討中。	
		ホストタウン交流事業(ブラジルサッカー教室)	政策企画課 社会教育・スポーツ振興課	令和2年1月12日にホストタウン交流事業として、ブラジル連邦共和国出身でサッカー元日本代表選手である三都主アレサンドロ選手(現加古川観光大使)による市内小・中学生及び高校生を対象とするサッカー教室を実施した。		
		加古川市スポーツサポーター養成講座	社会教育・スポーツ振興課	スポーツサポーター養成講座を全3回予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により3回目を中止した。 2回目までの参加者は、延48名であった。		

3 スポーツ環境の充実						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和元年度の取り組み結果	令和2年度実施予定	課題・検討事項等
(1) 身近に利用できる「場所」の確保						
①	スポーツ施設の充実	スポーツ施設等による主催講座、教室	総合体育館	①夜間の教室が少ないので夜間教室の開講を検討したが、開催には至らなかった。 ②人気の高い卓球教室に期待するため、高齢者向けのラージボール教室の開催を予定していた。コロナウイルス感染拡大防止の為、実施に至らなかった。 ③むくみ改善講座等、生涯スポーツ講座を開催し、定員に達する参加があった。	①夜間の教室が少ないので夜間教室の開講を検討する。 ②昼間の閑散時間に、いつでもだれでもスポーツが出来るような教室開講の検討をしている。 ③地域の方が参加しやすいスポーツ活動を模索する。	より多くの方に体育館プログラムに参加いただけるよう、HPの更新等に力を入れる。また、学校配布やポスティング、新聞折り込みなども検討する。
			運動公園陸上競技場	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象に水曜コース19回延836名、土・日コース18回延612名の参加があった。基本となる体作りを目的とし、多くの子供が参加した。高跳びや幅跳びにも挑戦するので、陸上に触れる良い機会となった。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし38回延1,402名の参加があった。大会へ出場し好成績を目指し実施した。(※3月は中止) ②投てきコース 中学生対象の教室で28回延303名の参加があった。(※3月は中止) ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象で、気軽に参加できリフレッシュすることを目的とし、37回延268名の参加があった。(※3月は中止)	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、陸上の基本練習を行う。基本となる体作りを目的とし、開催する。高跳びや幅跳びにも挑戦する。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、大会出場を目的としている。 ②投てきコース 中学生対象の教室で、砲丸投げを中心に開催。県大会などで活躍する選手が多く出ている。 ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象で、リフレッシュすることを目的としている。気軽に参加でき、経験とわず誰でも参加できる教室を目指す。	教室の卒業生が、中学、高校に出て活躍しているので、引き続き多くの生徒が活躍できるような指導に努める。 リフレッシュウォーキング教室は継続参加の方が多いので新規参加者の獲得が課題である。
			日岡山体育館	①利用者のニーズに合わせた、新たな教室として基礎運動教室を実施した ②7施設全体を使ったイベントとして親子スポーツスタンプラリーを行った ③協会と連携しソフトバレー大会を実施した	①利用者のニーズに合わせた、教室を展開する… ②7施設全体を使ったイベントと初めての試みであるロゲイニングを行う。 ③各団体と協働した大会を開催する。	新規申込者の獲得に苦戦する教室がでてきており、また各教室に偏りが出てきている。利用者ニーズの調査を行い、教室の内容変更を検討していく必要がある。
			武道館	①剣道教室の体験会を行った ②7月分施設全体を使ったイベントとして親子スポーツスタンプラリーを行った ③第二武道場の床メンテナンスを実施するため施工業者との打ち合わせ、日程調整、また各協会団体との年間スケジュール調整を行った	①利用者のニーズに合わせた、教室を展開する。 ②7施設全体を使ったイベントを行う。 ③利用区分が変更となったため利用者への周知をする。	自主事業について、全体的に受講者が減少傾向にあるため、無料体験会の拡大やこれまでと違った広報宣伝活動を行っていく必要がある。
			日岡山公園グラウンド	①ジュニアサッカースクール(幼児、小学生)の体験会を広報に掲載し、定期的で開催することで在籍者の拡大を図った。 ②グラウンドゴルフ協会と協働で「グラウンドゴルフ大会」を行った ③7施設全体を使ったイベントとして親子スポーツスタンプラリーを行った	①利用者のニーズに合わせた、サッカースクールを展開する。 ②7施設全体を使ったイベントと特別講師を招いたサッカー教室(ピクトリークリニック)を行う。 ③各団体と協働した大会を開催する。	
			日岡山公園第1テニスコート	①ソフトテニス協会と協同で大会を開催した ②7施設全体を使ったイベントとして親子スポーツスタンプラリーを行った	①利用者ニーズ、協会団体へのヒヤリングで備品購入を行い、満足度向上を図る。 ②7施設全体を使ったイベントを行う。 ③各団体と協働した大会を開催する。	新規利用者獲得に向けて、キャンペーンや各協会との連携を強化しイベント等の企画、実行をしていく必要がある。
			日岡山公園第2テニスコート	①テニススクールを開講した。 ②7施設全体を使ったイベントとして親子スポーツスタンプラリーを行った。	①利用者のニーズに合わせた、テニススクールを展開する。 ②7施設全体を使ったイベントを行う。 ③テニススクール生を対象とした大会を開催する。	コートの水はけが悪く冬場は特に使用不可となることがある。更衣室の老朽化も進んでおり、利用者サービスの低下が懸念される。
			漕艇センター	①レガッタ事業実行委員会事業「市民レガッタ」「関西学生秋季選手権」を実施、市民レガッタに関しては猛暑の中、事前準備やコース設営を全て漕艇センタースタッフで行った。大会当日は2日間で約2,400人が訪れ盛り上がった大会となった。また、関西学生秋季選手権では23大学学部510人が参加した。当日ボイラーが故障するなどのトラブルがあったが地元民間銭湯の協力を得て参加者の入浴の確保が出来た。3日間でギャラリーを含め3,070名が訪れた。全国市町村交流レガッタでは大分県まで1名スタッフが随行し出場クルーのサポートを行った。 ②レディースボート体験では17人の参加があり現在でも常連クルーに入り活動されている方がおられる。 ③セミナーに関しては、5回開催で169人が参加された。想定していた参加人数を超えたため食堂を利用しての実施であった。また、漕艇センターを知らなかった方や、初めて来館された方が半数近くを占めていた。	①今年度に関しては、新型コロナウイルスの影響で主な大会が中止になって入りこいで少人数で行える教室等が実施できるか検討している。また、後半に予定している大会も実施する方向で進めている。	今年度に関しては、新型コロナウイルスの影響でレガッタ事業実行委員会事業が全て中止になり、前期の漕艇センター、加古川ポート協会主催の大会も中止になった。 後期の大会において実施する場合はコロナ対策を行ったうえで実施・検討する必要がある。
			ウェルネスパーク	①子供向け教室、イベントの充実 スイミングを中心に利用者増加、子供利用拡充につながった。単発のイベントも盛況に終わり、次年度へさらなる増加を期待したい ②高齢者向けプログラムの充実 帯レッスンでの高齢者運動には一定の評価が出た。しかし、月1回の教室では募集が振るわなかった。利便性との兼ね合いと頻度のバランスを見直し次年度へつなげていく ③プール利用促進プログラムの充実 スイミングにお孫さんを連れてきて利用を始めたり、お子様と一緒にといった利用がされ、計画通りに遂行できた。本年で基礎をしっかりと築けたので次年度はさらなる向上につなげていく。	①子供向けイベントの実施 小学生をターゲットに、基礎体力向上のための運動、ニュースポーツやかけっこ教室を行い、来館頻度を向上させ、利用促進につなげていく。 ②高齢者向けプログラムのさらなる充実 昨年までの月1回の教室を2回にすることで、運動習慣を構築し健康増進や各種予防につなげていく。 ③プール利用促進プログラムの充実 健康増進など世代別に即したプログラム展開ができているので、本年度は泳力に関係するプログラムを展開し、さらなる顧客獲得につなげていく。	立地による、インフラの不便性は否めない。特に高齢利用者からの声は多かった。レッスン時間の見直しを行い向上につなげていきたい。また、レッスン等の認知を高めるため本年度は折り込み広告などの媒体を利用検討。さらなる利用者増加へつなげていく

3 スポーツ環境の充実						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和元年度の取り組み結果	令和2年度実施予定	課題・検討事項等
①	スポーツ施設の充実	スポーツ施設等による主催講座、教室	スポーツ交流館	①開館時間の延長 前年9月：30～21：30の営業時間を前後30分延長。9：00～22：00とした。多様なライフスタイルに貢献。 ②(継続)子育て世代を対象とした教室事業の充実 水泳教室、ダンス教室、ヨガ教室を中心に子育て世代や親子で参加していただける教室を継続展開。 ③多様なウェルネスプログラムの展開 幅広い年齢層の方のニーズに沿ったプログラムを展開。特に運動習慣導入を目的とした、ストレッチ、コンディショニング系の低強度プログラムを増設。	①(継続)子育て世代を対象とした教室事業の充実 水泳教室、ダンス教室、ヨガ教室を中心に子育て世代や親子で参加していただける教室を継続展開する。 ②(継続)多様なウェルネスプログラムの展開 幅広い年齢層の方のニーズに沿ったプログラムを展開予定。 ③障がい者スポーツ体験会の実施。 パラリンピック種目体験等を実施予定。	更衣室狭小により、障がいをお持ちの方が安心して更衣できる環境下ではないため、利用時に別の着替えスペースの確保等が必要である。
			志方体育館	シェイプアップ教室 10回コースを年4回実施した。	シェイプアップ教室 10回コースを年3回実施予定。	参加者の増加に向けて、引き続き広報活動に努めていく。
			日岡市民プール	①PTAの取り組みに協力した。 ②7施設全体を使ったイベントとして親子スポーツスタンプラリーを行った。 ③漏水調査を実施した	①縁日を行う。 ②7施設全体を使ったイベントを行う。 ③開場に向けて、安全性を確保するための補修及びメンテナンスを実施する。	衛生面の確保から、トイレ、更衣室、など大規模な改修が必要と思われる。
			志方東公園テニス	テニス教室 月10日実施。 教室生対象に年2回のテニス大会を実施。	テニス教室 月10日実施予定。 教室生対象に年2回のテニス大会を実施予定。	参加者の増加に向けて、引き続き広報活動に努めていく。
		トレーニング室の利用促進	日岡山体育館	①既存登録者が、利用回数を増やしていただけるようにランキング形式で利用回数を把握し、年度末に賞品贈呈を行った。 ②既存登録者から聞き取りを行い、ストレッチマットの設置、トレーニングチューブの取替、パワーベルトの取替等を行い、行い利用者満足度向上を図った。	①既存登録者に向けた満足度向上のための取り組みを行う。 ②新規登録者を増やすための取り組みを行う。	利用者ニーズの変化からフリーウエイトの需要が高まってきております。しかし、スペースに限りがあるため、拡張が必要と思われる。また有酸素系のマシンについて老朽化が進んでおり、利用者サービスの低下が懸念される。古いマシンであることからメンテナンスも不可。
		トレーニングジムの利用促進	総合体育館	利用者の要望が多かったファンクショナルトレーナ、エアロバイクの更新を行いました。また、スタッフによるレッスンのプログラムを変更しました。	多種多様なトレーニングに対応できるよう、スタッフのスキルアップを図る。ジムマシンや備品の経年劣化が見られる為、計画的に更新を図る。	利用人数が増加傾向にあるが、定期券利用によるリピート率が増加しているので、新規利用者の獲得に力を入れる。
		プール及びジムの利用促進	ウェルネスパーク	手軽にできることもあり、高齢者を中心に、しっかり集客ができた。時間帯により集まらなかったクラスも見受けられたため、利用者動向を調査し、プログラム時間のや内容を更新していく。	都度利用者へのスタンプカードを導入し、運動に一つ遊びを入れて、習慣化させていく。この流れをうまくプログラム利用につなげ、回数券、定期券利用を増価させ、利用促進につなげていく。	ネット媒体だけではまだまだ認知へのハードルが高い。もっと身近な広告媒体など一目でわかるPRを行っていくことが必要である。今年度はここに力を入れていきたい。
			スポーツ交流館	「ラウンドフィットネス®」の設置。筋力向上運動の経験がない方などを含め、新たな運動様式を提供した。	①(継続)開館時間の延長 前年9：30～21：30の営業時間を前後30分延長。9：00～22：00とする。 多様なライフスタイルに貢献する。 ②(継続)「ラウンドフィットネス®」の設置。	
		競技場の個人利用促進	運動公園陸上競技場	日々の清掃や月1回のクリーンアップにより、施設内のみならず、施設外の清掃活動を行った。	改修工事が終了し、きれいになった競技場を多くの方が利用しに来るので、きれいな施設の維持に努める。	備品の劣化等、見られるため更新や手入れを行い、利用者が使いたいときに利用できない事がないよう注意する。
		<再掲> 総合体育館改修事業	社会教育・スポーツ振興課	令和2年3月末に総合体育館のコミュニティアリーナの床を弾力性が高いものに改修を行った。年齢や障害の有無にかかわらず、安全かつ快適にスポーツに参画できることをめざしていく。		障がい者スポーツ活動の拠点となるよう活用については検討していく。
②	学校体育施設等の開放	学校体育施設等の開放	教育総務課	全学校園の体育館などの施設を開放し、地域のスポーツ活動の場として活用する。令和元年度については、19,514件の利用申請があった。 施設の老朽化対策として、氷丘南小学校屋内運動場床改修、東神吉南小学校屋内運動場外部改修工事を実施した。	引き続き、全学校園の体育館などの施設を開放し、地域のスポーツ活動の場として活用する。令和2年度についても、約2万件の利用を見込んでいる。 施設の老朽化対策として、加古川小学校屋内運動場照明設備改修、尾上小学校屋内運動場照明改修を実施予定である。	学校体育施設のフローリングや照明設備等が老朽化しているため、計画的な改修や修繕を進めていく。
			社会教育・スポーツ振興課	<再掲> 市内小学校を会場とした、障がい者スポーツの体験と審判講習会の実施。 ・6月23日に鳩里小学校にてふうせんバレーボール実技講習会実施。 ・7月13日に氷丘南小にて卓球バレー講習会実施。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については検討予定。	小・中学校の学校施設の開放については、スポーツ関係団体等と調整しながら有効的な活用を検討する必要がある。
③	スポーツ施設に関する情報提供・利用手続きの簡素化	スポーツ施設等予約システム	ウェルネス推進課	スポーツ施設等予約システムによる市内施設の情報提供や予約等のサービスを提供し、スポーツ施設の利用手続きを簡素化した。	スポーツ施設等予約システムによる市内施設の情報提供や予約等のサービスを継続する。	

3 スポーツ環境の充実						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和元年度の取り組み結果	令和2年度実施予定	課題・検討事項等
(2) 観戦スポーツの推進						
①	スポーツ大会の情報提供	Bリーグ加古川大会	ウェルネス推進課	ウェルネススポーツ推進事業の一環としてBリーグ加古川大会を開催し、市内及び市外から多くの観戦者にトップレベルの選手による素晴らしいプレーを観戦する機会を提供した。 日時：令和元年10月5日(土)・6日(日) 場所：総合体育館 対戦カード：西宮ストークス対青森ワッツ	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた市の方針に基づき実施なし。	
		Vプレミアリーグ女子バレーボール加古川大会	ウェルネス推進課	一流選手による魅力あるスポーツイベントを開催し、市民のスポーツへの参加機会の拡大を図るため、女子バレーボールの国内最高峰であるVリーグ女子公式戦を開催した。 日時：令和元年12月7日(土)・8日(日) 場所：総合体育館 対戦カード：7日(JT対日立、姫路対KUROBE)、8日(JT対姫路、日立対KUROBE)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた市の方針に基づき実施なし。	
②	大規模競技大会の誘致	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿誘致	政策企画課 社会教育・スポーツ振興課	<再掲> 8月13日～24日はツバルの選手(陸上競技)が本市で事前合宿を行い、市内高校との合同練習をはじめ、市内施設を会場として市民との交流会を実施するなど、大会に向けての機運を高めた。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については、検討中。	
③	身近な観戦スポーツの推進	スポーツタウン加古川.jpのHP	ウェルネス推進課 社会教育・スポーツ振興課		市内のスポーツ情報を集約したHPを立上げ、身近なスポーツの情報提供を行う。	HPの効果的な活用の検討が必要である。
(3) スポーツボランティアや指導者の発掘と養成						
①	スポーツボランティアの養成・確保	指導者研修会の情報提供	社会教育・スポーツ振興課	県体育協会が主催するスポーツ指導者研修会やスポーツ指導者養成講座について、体育協会、スポーツ推進委員、スポーツクラブ等へ参加の呼びかけを行った。	県体育協会が主催するスポーツ指導者研修会やスポーツ指導者養成講座について、体育協会、スポーツ推進委員、スポーツクラブ等へ参加の呼びかけを行う。	大会の安全確保のため、AED講習の継続及び救護体制の強化を目指す。
		加古川マラソン大会	ウェルネス推進課	加古川マラソンを支えるボランティアの育成を目的として、給水所・走路の監察にかかるボランティアの方々に、AEDを用いた心肺蘇生法講習を実施した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた市の方針に基づき、開催見送り。	
		加古川カップ綱引大会審判講習会	社会教育・スポーツ振興課	体育協会主催の「加古川カップ綱引大会」に従事する審判員については、有資格者の公認審判員のほか、正式な資格を持たない者がいる。(体育協会各種目協会から選出された者、スポーツ推進委員等)その者たちに対し、公認審判員(スポーツ推進委員)が審判の講習を1回実施し、大会参加者(チーム)に対しても綱の引き方指導を行った。 また、広報で、審判員のボランティアを募集した。	加古川カップ綱引大会については、市及び市教育委員会共催事業であり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については主催団体と検討する。	
②	スポーツ指導者の養成・確保	<再掲> 加古川市スポーツサポーター養成講座	社会教育・スポーツ振興課	スポーツサポーター養成講座を全3回予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により3回目を中止した。 2回目までの参加者は、24名であった。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施については、検討中。	
(4) スポーツについての情報発信						
①	多角的なスポーツ情報の提供	広報かがわ情報	政策企画課	広報かがわで月ごとに開催されるスポーツイベントや大会に関する詳細情報の掲載、スポーツイベント取材し写真とともに紙面で紹介した。また、市公式のツイッターやフェイスブックにおいて、市内のスポーツに関する情報を発信した。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた本市の対応に基づき、実施が決定した事業については周知に努める。	HPの効果的な活用の検討が必要である。
		<再掲> スポーツタウン加古川.jpのHP	ウェルネス推進課 社会教育・スポーツ振興課		市内のスポーツ情報を集約したHPを立上げ、身近なスポーツの情報提供を行う。	

3 スポーツ環境の充実						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和元年度の取り組み結果	令和2年度実施予定	課題・検討事項等
②	スポーツの情報発信方法の工夫	市スポーツイベント情報	ウェルネス推進課	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページに最新の市スポーツイベントの状況を掲載した。また、「加古川市の施設」のページから、スポーツ施設のホームページが閲覧でき、それぞれの施設の大会スケジュールや教室等がチェックできるよう努めた。	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページに最新の市スポーツイベントの状況を掲載する。また、「加古川市の施設」のページから、スポーツ施設のホームページが閲覧でき、それぞれの施設の大会スケジュールや教室等がチェックできる。	こまめに更新し、常に最新の情報が掲載されている状態を維持していきたい。
		スポーツ推進委員だよりのHP掲載	社会教育・スポーツ振興課	スポーツ推進委員だより「HAPPYスポーツ」は、年2回(6月、1月)発行しているが、関係者及び一部の公共施設への配付だけではなく、市HPに掲載を行い、身近な体力づくりやスポーツ情報を提供している。また、綱引大会やスポーツカーニバル、スポーツライフセミナー等イベントにおいても参加市民に配布して情報提供に努めている。	スポーツ推進委員だより「HAPPYスポーツ」は、年2回発行予定。新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、イベント等が自粛になる中、市民が自宅でできるような運動の情報を掲載することを検討していく必要がある。	
		播磨圏域連携中枢都市圏連携事業(8市8町)	社会教育・スポーツ振興課	播磨圏域8市8町のスポーツイベント等の情報を、「ひめじスポーツコミッションHP」を十分に活用できなかったが、令和2年3月頃より新型コロナウイルス感染症への対応について8市8町のスポーツ担当部署で情報共有を行った。	播磨圏域8市8町のスポーツイベント等の情報を、「ひめじスポーツコミッションHP」を十分に活用して発信するとともに、スポーツ情勢についても情報共有を行っていく必要がある。	ホームページの活用が十分にできていなかったので、情報提供や周知方法について検討する必要がある。
(5) 総合型地域スポーツクラブの充実						
①	NPO法人加古川総合スポーツクラブの質的な充実	スポーツクラブ活動の推進	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	ヴィジョン・ミッションを行動指針として、12エリアクラブ、31活動クラブにおいて活動している40種目をホームページや募集チラシで広報した。また、エリアクラブ主催の交流活動・種目部会主催の交流大会及びオープン大会等の開催を通して市民への認知度の向上に努めた。また、小・中学生対象「卓球広場」などのスポーツ教室を開催した。	ヴィジョン・ミッションを行動指針として、12エリアクラブ、31活動クラブにおいて活動している40種目をホームページや募集チラシで広報し会員の増加を図る。また、「新型コロナウイルス感染症」への対策をしながらエリアクラブ主催の交流活動・種目部会主催の交流大会及びオープン大会等の開催を通して市民への認知度の向上に努める。また、本年度「障がい者スポーツ部会」を設置したことに伴い、障がい者スポーツの普及・啓発を図る。	①人材発掘・育成、②活動施設確保・充実、③財源確保、④クラブの魅力づくり、⑤地域貢献・交流、⑥スポーツ指導者育成(パラスポーツ含)及び中学校部活動への支援
		スポーツクラブマネージャー研修会	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	・運営委員会(毎月開催)→エリアマネジャーが出席し、行事関係の連絡調整及びクラブ運営諸問題について意見交換を行った。・種目代表者会は8月に開催した。	・運営委員会(毎月開催)→エリアマネジャーが出席し、行事関係の連絡調整及びクラブ運営諸問題について意見交換を行う。・種目代表者会の開催(8月)、近畿ブロッククラブネットワークアクション2020参加予定。	①指導者養成講座の開設、②エリアクラブ運営役員の交代
②	地域の課題解決に向けた取組の推進	クラブハウスの利用促進	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	スポーツクラブの会議及び活動場所(ボードダーディング)として利用するとともに、学校(チャレンジクラブ)や地域の団体の利用があった。	スポーツクラブの会議及び活動場所(ボードダーディング)として利用するとともに、学校(チャレンジクラブ)や地域の団体の利用を促進する。	①老朽化に伴う修理補修
③	運動部活動への協力体制の拡充	準備委員会等の開催	社会教育・スポーツ振興課 学校教育課		今年度中にスポーツ関係団体及び部活動担当教諭を交えて、運動部活動への協力体制の拡充に向けての準備委員会を立ち上げる予定。	平成31年3月に改訂された「加古川市中学校部活動ガイドライン」に基づき、連携について検討する必要がある。

加古川市スポーツ推進計画の体系とその主な関連事業（令和２年度）

施策・目標	具体的施策	主な関連事業
１．スポーツ参画人口の拡大		
（１）子どもの体力向上とスポーツ活動の推進	①幼児を対象とした運動遊びの充実	・なかよし運動会 ・加古川スポーツカーニバル（親子ふれあい体操）【新規】
	②学校におけるスポーツ活動の充実	・放課後子ども教室 ・中学校部活動支援事業
（２）ライフステージに応じたスポーツの推進	①ビジネスパーソンのスポーツ習慣づくり	・スポーツライフセミナー
	②女性がスポーツに参画しやすい環境整備	・アンケートの実施【予定】
	③高齢者スポーツの推進	・老人クラブ活動
（３）スポーツに関心のない人へのはたらきかけ	①スポーツとの多様な関わり方の提案	OCTOBER run&walk 2020（オクトーバーランアンドウォーク） 【予定】
	②ライフスタイルに合わせたスポーツ情報の提供	・かがわ・新コンセプトウォーキングコース ・ウォーキングコースの奨励
（４）競技スポーツの推進	①競技スポーツ選手のスポーツ環境整備	・選手育成機会の提供 ・選手育成コース ・バスケットボール教室 ・バレーボール教室 ・俊足王決定戦 ・バドミントン教室 ・小学生ボート体験教室 ・加古川市民さわやか賞
	②競技スポーツ指導者の育成・確保	・障がい者スポーツ指導員の育成
２．スポーツを通じた共生社会の実現		
（１）障がい者スポーツの振興	①障がい者スポーツの組織基盤の整備	・障がい者スポーツ指導員講習会への参加促進
	②スポーツ施設における障がい者等の利用促進	・総合体育館改修事業
	③障がい者スポーツの実施機会の増加	・ふれあいスポーツ教室 ・加古川スポーツカーニバル ・かこバラスポーツ王国 （パラリンピック機運醸成イベント）
	④ノーマライゼーションの推進	・加古川ソーデーマーチ ・加古川マラソン大会
（２）健康・体力づくり事業の推進	①健康・スポーツに関する情報発信	・ウェルネスプラン運動・身体活動ワーキングチーム ・特定保健指導 ・いきいき健康サークル
	②散歩・ウォーキング・健康体操の推進	・かがわ・新コンセプトウォーキングコース＜再掲＞ ・ウォーキングコースの奨励＜再掲＞ ・ラジオ体操の推進 ・いきいき百歳体操活動支援
	③スポーツ推進委員会の活用	・スポーツ推進委員派遣事業 ・スポーツ推進委員研修会
（３）スポーツを通じた地域活性化	①地域におけるスポーツ環境・スポーツ情報の充実	・公民館活動 ・少年団活動
	②スポーツイベントの開催	・加古川スポーツカーニバル＜再掲＞ ・かこバラスポーツ王国 （パラリンピック機運醸成イベント）＜再掲＞ ・加古川カップ綱引大会 ・健康・体力づくり事業 ・加古川市民レガッタ ・加古川レガッタ（関西学生秋季選手権） ・加古川ソーデーマーチ ・加古川マラソン大会
	③地域でのスポーツイベントの開催	・世代間交流学習会
	④ホストタウンを契機としたスポーツ交流の促進	・ホストタウン交流事業 ・ホストタウン交流事業（ブラジルサッカー教室） ・加古川市スポーツサポーター養成講座
３．スポーツ環境の充実		
（１）身近に利用できる「場所」の確保	①スポーツ施設の充実	・スポーツ施設等による主催講座、教室 ・トレーニング室の利用促進（日岡山体育館） ・トレーニングジムの利用促進（総合体育館） ・プール及びジムの利用促進 （ウェルネスパーク、スポーツ交流館） ・競技場の個人利用促進（運動公園陸上競技場） ・総合体育館改修事業＜再掲＞
	②学校体育施設等の開放	・学校体育施設等の開放
	③スポーツ施設に関する情報提供・利用手続きの簡素化	・スポーツ施設等予約システム
（２）観戦スポーツの推進	①スポーツ大会の情報提供	・Ｂリーグ加古川大会 ・Ｖプレミアリーグ女子バレーボール加古川大会
	②大規模競技大会の誘致	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿誘致
	③身近な観戦スポーツの推進	・スポーツタウン加古川. j p のＨＰ【新規】
（３）スポーツボランティアや指導者の発掘と養成	①スポーツボランティアの養成・確保	・指導者研修会の情報提供 ・加古川マラソン大会 ・加古川カップ綱引大会審判講習会
	②スポーツ指導者の養成・確保	・加古川市スポーツサポーター養成講座＜再掲＞
（４）スポーツについての情報発信	①多角的なスポーツ情報の提供	・広報かがわ情報 ・スポーツタウン加古川. j p のＨＰ＜再掲＞
	②スポーツの情報発信方法の工夫	・市スポーツイベント情報 ・スポーツ推進委員だよりのＨＰ掲載 ・播磨園域連携中枢都市圏連携事業（８市８町）
（５）総合型地域スポーツクラブの充実	①NPO法人加古川総合スポーツクラブの質的な充実	・スポーツクラブ活動の推進 ・スポーツクラブマネージャー研修会
	②地域の課題解決に向けた取組の推進	・クラブハウスの利用促進
	③運動部活動への協力体制の拡充	準備委員会等の開催【予定】

共生社会ホストタウンについて

地方における共生社会の実現に向けたユニバーサルデザインの実施を加速するため、共生社会ホストタウン制度を立ち上げ。現在、14件※が登録済み。

【取組概要】

※三沢市、浜松市、明石市、宇部市、高松市、世田谷区、遠野市、川崎市、神戸市、鳥取市・鳥取県、田川市、飯塚市、大分市、江戸川区

○ 共生社会の実現に向けた取組の推進

障害のある海外の選手たちを迎えることをきっかけに、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーに向けた、自治体ならではの特色ある総合的な取組を実施。大会のレガシーにもつなげていく。

<例>

- ・店舗等の小規模建築物のバリアフリー化支援
- ・事業者や生徒・児童等への心のバリアフリーの浸透
- ・パラアスリートや障害当事者参画の元でのバリアフリーマップの作成

○ 東京大会の事後交流も含めた、幅広い形でのパラリンピアンとの交流

パラリンピックに向けた機運を醸成すると共に、住民が障害のある選手たちと直に接することで、住民の意識を変えていくきっかけとする。



台湾パラ陸上選手と小学生との交流（高松市）



カナダ車いすラグビーチームと小学生との交流（三沢市）

共生社会ホストタウンの取組の例

ユニバーサルデザインの街づくり

- 産官学民による共生社会の推進のための協議会の設置
- 共生社会の推進のための全庁的な組織の編成・設置
- 公共施設の改修に合わせたユニバーサルデザイン化の推進
- エレベーターの設置等鉄道駅のバリアフリー化
- 中心市街地の歩道の段差解消や点字ブロックの整備
- 民間施設への点字メニュー、筆談ボード、折り畳み式スロープの導入支援
- 市主要部への多目的トイレや音声案内板等の設置
- 公共施設、観光地、商店街等のバリアフリーマップの整備
- 市民や企業、障害当事者等との街歩き／バリアフリー点検
- バリアフリー法に基づくマスタープランの策定や基本構想の改定
- 観光施設のバリアフリー情報の発信や障害者も参加可能なツアー企画等ユニバーサルツーリズムの推進

心のバリアフリー

- 小中学校でのパラリンピアンによる体験型授業の実施
- タクシー・ホテル関係者等の関係事業者を対象とした接遇研修
- 共生社会をテーマにしたシンポジウムの開催
- 市民参加型のユニバーサル交流イベントの継続実施
- 相手国の受け入れのためのボランティアの育成
- 職員、ボランティア、市民等を対象とした心のバリアフリー研修
- 市民・子供等を対象としたパラスポーツ体験会やパラスポーツ大会
- 福祉のまちづくり条例、手話言語条例その他共生社会の推進に関する条例や総合的な計画の策定

パラリンピアンや地元障害者アスリートとの交流

- 過去大会に出場した日本人パラリンピアンによる講演会や学校訪問
- 地元の障害のあるトップアスリートによるパラスポーツ体験会
- 事前合宿で日本を訪れた相手国のパラリンピアンとの市民交流
- 2020大会直後における相手国のパラリンピアンによる文化体験・スポーツ交流・観光体験・食体験

『スポーツタウン加古川』の活用について

加古川市と株式会社アールビーズが「スポーツ推進に関する包括連携協定」締結
【令和元年 11 月 28 日（木）】

【目的】

スポーツに関する事業に協働して取り組むことにより
市民の健康づくりの推進と地域社会の活性化を図る。

- ・健康、スポーツに関すること
- ・地域活性化に関すること
- ・その他本協定の目的に沿うこと

(株)アールビーズ

- ① 全国のマラソン大会の運営企画など
- ② 「runnet」を活用した IT サービス
「e-moshicom(モシコム)」サイト
- ③ ランニング雑誌の発行

※イベント申込受付用アプリあり

加古川市

《ウェルネス推進課》

・加古川マラソンなどの連携

《社会教育・スポーツ振興課》

・加古川市体育協会

・加古川市スポーツ推進委員会

・NPO 法人加古川総合スポーツクラブ

《「スポーツタウン加古川.jp」のホームページの作成》

加古川市内の各種スポーツ情報、
情報発信するサイトの立ち上げ

市・施設のイベントなど



社スポ
作成・管理

各種目協会HP

加古川市体育協会

スポーツクラブ

スポーツ推進委員会

〇〇〇〇〇〇〇〇協会

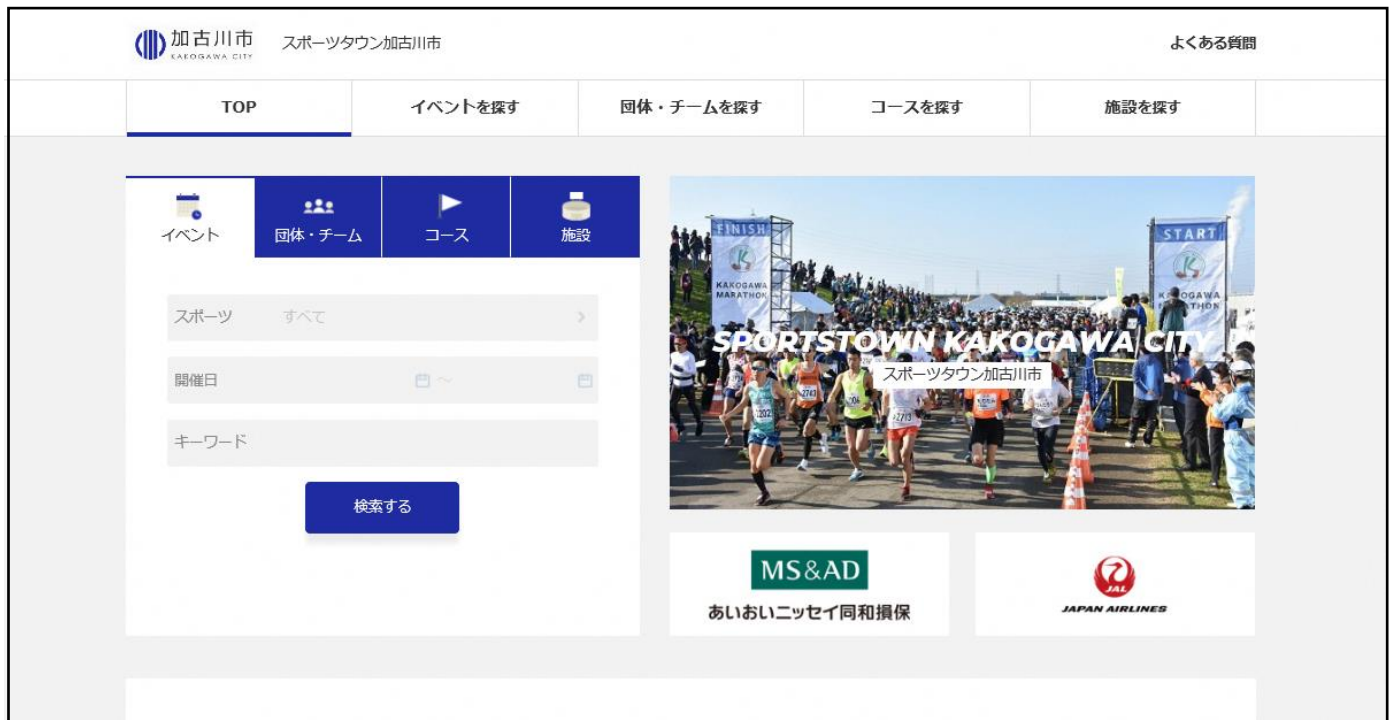
〇〇〇〇〇〇〇〇協会

〇〇〇〇〇〇〇〇協会

※市内のスポーツイベント、大会、教室などの情報を一元管理
→スポーツイベント、大会などの情報を簡単に検索することが可能
(大会等の参加申込みの手続きも可能)

『スポーツタウン加古川』サイトイメージ

①トップページ



②イベント検索



③ イベント情報

エリアを選ぶ

スポーツを選ぶ

キーワード

主催者の方へヘルプログイン

イベント

主催者

施設

コース

Top > イベント一覧 > お待たせしました リアル加古川みなもチャレンジ記録会【兵庫県内居住者限定】ここでもTシャツプレゼント

PR ランニング

2020/9/12(土)

兵庫県（加古川市）

計画あり大会

イベント主催者

アスリートタグ

★★★★★ 4.71

8

大会

500人〜

参加費有り

会場利用証明

基本情報

レビュー

イベント詳細

主催者情報

申し込み

f

t

u

f

t

u

<>

開催日

2020/09/12 (土) 受付開始 07:00 ~

Googleカレンダーに登録

申込受付期間

2020/8/2(日)00:00~ 2020/9/3(木)23:59

開催場所

兵庫県加古川市

支払方法

クレジットカード払い、コンビニ払い

代理申込

可

参加費

A 5kmチャレンジラン 男子 18~44歳 (高校生を除く) :	2,500円
B 5km チャレンジラン18~44歳 (高校生を除く) :	2,500円
C 5kmチャレンジラン 男子 45歳以上 :	2,500円
D 5kmチャレンジラン 女子 45歳以上 :	2,500円
E 10kmチャレンジラン 男子 18~44歳 (高校生を除く) :	3,000円
F 10kmチャレンジラン 女子 18~44歳 (高校生を除く) :	3,000円
G 10kmチャレンジラン 男子 45歳以上 :	3,000円
H 10kmチャレンジラン 女子 45歳以上 :	3,000円

申し込み

イベント情報ダウンロード

注目のイベント

PR

2020/9/5 - 2020/9/6

SUP×Trailrunning NIKK 02020

栃木県日光市

2020/9/12

東京都北区赤羽マラソン - ハーフ/クォーター/5km/...

東京都北区

2020/8/29

ランニングシューズを賢く選ぼう！シューズアドバイザー...

神奈川県平塚市

あなたにおすすめのイベント

2020/9/9

9/9(水)【岩出玲亜 練習会】1000m×8 @磯田

東京都渋谷区

2020/9/27

★第7回「伊予崎巡走」(塩ヶ森編Part2) ~ 新ル...

愛知県東海市

2020/9/2

9/2(水)【岩出玲亜練習会】300m(200m)×4 3set...

東京都江東区

2020/9/27

札幌~石狩マラニック

北海道札幌市北区

2020/9/1 ~ 2020/9/30

9月『JOHHOKU CABALL O』かけっこ教室 体験

東京都世田谷区